

2005/4/7日 午後6時より、第5回目の「第2回里山シンポジウム」委員会の会議が行われました  
会場は、中央コミュニティーセンター6F 61講習室

参加者

金親博榮、小西由希子、栗原祐治、中村俊彦 荒尾 稔、我孫子市よりお2人(大畑 照幸、渡辺和夫)  
みどり推進課 齋藤 勝義 / ちば里山センター堀田 義昭

各分科会委員

上善峰男 / 林 みね子 / 稗田 忠弘 / 福満 美代子 / 渡邊英二 / 荒尾 稔 / 井村 / 遠藤陽子 / 中野真樹子 / 田崎 愛知  
郎 / 遠藤 勇 / 荒尾 繁志 / 井村 弘子 / 田代 武男  
桑波田 和子 / 千葉 智雄 / 田中 正彦 / 鈴木優子 / 宮村賢治 / 横山 武 / 横田耕明 / 小野 鈴子 /

欠席者

木下 敬三 / 瀧 和夫 / 宮城 直 / 所 英亮 / 加藤 賢三 /

1 基調講演、副知事挨拶、パネルディスカッション等に関して

(1) 千葉県知事、副知事の参加に関して

堂本知事は、昼間の参加は無理の模様

夕方からの懇親会に参加をお願いしている(出来るだけ参加したいとのこと)

会長より、大槻副知事が議会で信任に関して継続審議になってしまい、4月17日に6退任となること。

6月まで、副知事は空席になるので、千葉県からの挨拶を省き、パネルディスカッションでも

副知事 前副知事としたいとの意見

(1)(2)とも異議なし

(2) 本日、金親様、小西様、荒尾で、東京情報大学教授 原 慶太郎様と打ち合わせきた報告

基本的の合意した旨。会長から報告。

2 全体のパンフレットの進捗

(1) 事務局から、中村俊彦さまに、制作を移管した旨を報告

中村俊彦さまから、最新のパンフレット案が提示されました。

それに基づいた意見と確認

パンフレットのロゴを新規に作成の件

中村俊彦さんから報告

異議なし

ただし、メインキャッチは、指定文字をそのまま残すことで、合意

その版下製作及び印刷には、中村俊彦さんと、ちば里山センター堀田さんが合同して行うことで

制作部数を、議論して、積算で7,000部の要望から、10,000部印刷することにて

分科会別の必要部数に関して、議論が色々出ました。

合意  
合意

3 主催県関係・市町村の関連

丸山町を除き

主催

里山シンポジウム実行委員会 / ちば里山センター / (社)緑化推進委員会 / 我孫子市 / 千葉県

4 協賛団体の確認 ここが一番難関となってきました。

(1) 自己責任で、合意取り付けの手配を再度お願い

今回は、各分科会単位での合意取り付けをお願いしました。

結果はメールで、事務局まで、結果を知らせていただくことになっています。

金親博榮会長から、再度関係先用のフォーマットをメールにより配信(satochiba)する事が確認されました

(2)協賛先の確認等 スケジュールとして、4/13までとなっています。

未着先は、今回のパンフレット上では記載には、各分科会で確認、あるいは分科会単位で了承が前提

5 工程表から このメールに添付します

(1) 政策及び観光の2分科会からの報告はまだ届いておりません。本日入着するものと確信都報告 了承

(2) 行程表内の文書は、まだ十分に練られていない部分もあります。

会場配布資料という観点から、事前を含めて、改めて検証をお願いいたします。

複数意見あり

5、 内容の具体化 前回と基本はわかりません

講演者名

基調演説は、原 慶太郎氏  
パネルディスカッションは  
大槻千葉県前副知事  
福嶋我孫子市長  
日本雁を保護する会会長 呉地正行  
和光保育園園長 鈴木眞廣  
司会 小西由希子  
タイトル 里山と子ども

開催時間 堂本知事の挨拶が減った分、以下（前回の原案）にどこかを15分増やす計算で  
時間割（前回の会議で合意した時間割）

1時30分	会長挨拶	5分	
1時50分	基調演説	原 慶太郎	40分
2時30分	14分科会 発表		30分
3時00分	会場からの質疑応答		20分
3時20分	中央学院高校生発表		10分
3時30分～10分	休憩		
3時40分	パネルディスカッション		70分
4時50分	質疑応答		10分
5時00分	閉会		

1分科会2分以内  
中村俊彦さん コーディネーター

#### 交流会

6時から 会費1,000円  
堂本知事、福嶋市長、中央学院の学長ほか関係者の皆様、

#### 6 問い合わせ先 荒尾の会社で受信。原則メールで

お問い合わせ先 / 資料ご請求先  
里山シンポジウム実行委員会事務局  
事務局長 荒尾 稔  
Tel.03-3824-6071 Fax . 03-3824-5980  
E-mail: tmlarao@tml.co.jp  
里山シンポジウム実行委員会HP <http://www.jgoose.jp/satochiba2>

#### 7 会場の正式名称に関して、再度の話し合い 詳細は次回にまわす。

原則として、事務局で版下のレベルまで作成を行い、中村俊彦さんに引き渡し、  
中村俊彦さんが県側と協働して、印刷まで作成していただく方針で検討  
事務局 案

- (1) 会場での配布文書 A3×2つ折り (a4×4p) が、パンフレットであり、会場配布資料の表紙として利用  
モノクロで良いとする 16pまたは20pとする  
14分科会のうちで、分科会終了済みの8分科会の報告書も添付する

(2) 各分科会の責任者の顔写真の送付も、事務局へ

#### 8 予算 ちば里山センターの堀田さんから、本年度の予算は、全て前年の70%と言うことで対処願いたい。 各分科会は、30,000円以下にて、対処願いたい。金親博榮さんが全体をみながら配分することのこと。 同時に総額で、管理をお任せしたいとの事

#### 9 我孫子市より、A3版のポスターを作成したい。ついては版下を要望したいとの申し出 中村俊彦さん対応

#### 10 午後8時より、各分科会内での打ち合わせをおこないました

#### 11 次回打ち合わせ

次回打ち合わせの会場

4月19日（火）午後6時から、千葉市中央コミュニティーセンター6階和室です。

前回までの確認事項の再度掲載です

- 1、全体会という名称で、スタートします。

基調講演のテーマの打ち合わせ

パネルディスカッションの内容の打ち合わせ

いずれも、これから、

今回の会議では、

基調講演のありかた。

話して頂く内容の検討      未検討

分科会報告のあり方。      各分科会で2分×14、事前に1分科会で1枚のパワーポイントを作成。

必要事項を記載、それを背景に話す方式

その後、中村俊彦さんの司会で会場と質疑応答及び問題点の掘り下げ等真摯に行って頂くこととなりました。

パネルディスカッション等でのあり方と、パネリストの候補の方々を

それぞれの紹介者から、その紹介の趣旨に関して説明がありました。

その内容に関して質疑がひとりひとり交わされました。その上で全員で、承認されました

この過程で、パネルディスカッションの時間を最大限拡張する事と

和光保育園の鈴木眞廣さんを加えることで合意が出来ました。

- 2 大ホール外のフロアで、パネル展示及びその参加募集

(我孫子市側もパネルの出展予定)

各、分科会からも、パネルの出品を求めます。

- 3 物販に関して、意見交換をする

会場で、各NPOの書籍や、ピーズ、バック食品等の販売を認めることになりました。

ただし、大学構内であり、寄付行為として行って頂く趣旨を理解して。

- 4 昼食は、大学構内に、手づくりの食堂がある。大変安く美味しいとの評判。

当日、この食堂利用を、お願いする

- 5 全大会終了後のパーティー(交流会)の開催 中村俊彦さんより、懇談会ではなく、交流会である旨の

発言がありました。これも、今回、議題に上げて徹底した議論を交わしました。その結果として趣旨を全員が

理解出来たことは大きな収穫になったと考えます。

- 6 県庁内、各分科会への、千葉県庁の職員招聘の件

現状では、各分科会からの要望が殆ど出ていない状況。

みどり推進課を介してのアプローチでは、金親博榮会長を介して、県庁側へ申しれをすることで、合意しました